



付属のクランクハンドルを差し込んで、グルグルと回すだけ。しかも1分とかからず展開できてしまうスピーディさがジファー・テントの美点だ。少々悪天候でも素早く設営・撤収が可能だ。



一見、大型ルーフボックスのような格納状態のルーフテント。風切り音も抑えられ、走りを大きくスポイルすることはない。シュラフなどの寝具はもちろん、走行時の収納スペースとしても活用できる。



ドアカーテンは上部からもジッパーで開くため、このように半開き状態にするなど、状況に応じてさまざまな展開が可能。就寝時の換気や目隠しなどにはうれしい機能だ。



出入り口は両側に設けられている。ドアカーテンの内側には写真のように防虫ネットを装備。開口部が大きいので非常に風通しが良く、快適だ。ドアカーテン、防虫ネットともジッパー&ロールアップ式。



テント前後に設けられた三角の小窓にも防虫ネットを備える。天井部には室内灯も装備(車内常時電源部に接続が必要)され、天井枠部分に引っ掛けて使える便利なポケット式小物入れも付属。



フロア全面サイズのマットレスと、枕が付属。マットレスは簡単に外れるので、シーツの敷き込みや清掃、天日干しなども楽に行える。二人用とは言え、ベッドスペースとしては充分すぎる空間だ。

## ROOF TENT

# 屋根に“寝室”を載せれば 愛車がキャンパーに変身

設営が簡単なFRPシェルのテントをルーフ上に搭載すると、アラ不思議それだけで普段使いの4x4もキャンパーに早変わりしてしまうのだ。“屋根上の寝室”は手軽さはもちろん、さまざまなメリットを持っている

文/大坪義孝 取材協力/ながおねキャンプ場

停めた場所でスグ寝られる  
素早さ&簡単さが大きな魅力  
ケルマに大きな改造を施したり、広大な駐車スペースを必要とすることなく、屋根上に搭載するだけで愛車を「快適キャンパー」化できるのが、ルーフテントだ。  
屋根・フロア部分をFRP、サイドのテント部分を撥水性・耐候性・通気性も備える乾式アクリル生地としたテントユニットは、格納状態ではルーフボックスのよう

ジファー オートホーム マジョリーナ グランドツアー

2007年7月号記事掲載